



鴨沂高校同窓会の皆様へ



鴨沂高校同窓会ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和4年度より吉川校長の後任として着任しました、校長の松井佳代美です。
どうぞよろしく願いいたします。

本校は、明治5年(1872年)創立の我が国最初の公立女学校である「新英学校及び女紅場」に始まり、その後、京都府立第一高等女学校、「府一」として府民のみならず、日本全国にその名は知られ、長く慕われてきました。戦後、男女共学の鴨沂高等学校になり、令和4年(2022年)に創立150年となります。九条家ゆかりの御門をはじめとする伝統ある古き良きものと、リニューアルした新校舎に設置された最新の設備やICT機器が融合する、素晴らしい教育環境のもとで生徒たちは学校生活を送っています。

高校3年間は人としての礎を築く大切な時間です。この大切な時間を、生徒たちは、落ち着いた環境のもと、和気あいあいとした雰囲気の中で、主体的・対話的で深い学びで知性を磨き、様々な活動を通して人間的に成長しようと日々励んでいます。

一方世界では、令和2年から新型コロナウイルス感染症が拡大し、令和4年にはロシアによるウクライナ侵攻が始まるなど、大きな危機に直面しています。そのような中で、鴨沂高校が掲げる教育方針「世界平和を希求し、すべての人々が幸福になりうる社会を目指して、事実に基づいて真理を追究し、それに従って実践しよう」と努力する人間をつくる」は、今も尊く輝いています。

本校では、コロナ禍における様々な困難の中でも、生徒と教職員と一緒に「今、できることは何か」を考え、多くの教育活動を実践してきました。これからも、今より少しずつ「より良く」していこうと思う心「向上心」を持ち、自他をリスペクトし、みんなとともに「より良く」していくことで、「より良く」生きる【well-being】、すなわち「幸福に生きること」の実現を目指します。そのために、教職員一同、生徒たちが安心して、のびやかに、しなやかに、たくましく成長できる教育環境を整えてまいります。

鴨沂の「学びの場」で、様々なことにチャレンジし、自分の可能性を最大限に伸ばし、一生を託せるような「夢」を育むことができる、思いっきり楽しむことができる、そんな学校でありたいと考えています。

本校の教育活動を支えてこられた先達に敬意を表しますと共に、日頃から本校の教育活動を温かく見守り、ご支援いただいています皆様にお礼申し上げます。今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

生徒の活躍をはじめ、本校の様子をホームページにてお伝えしておりますので、ご覧いただければ幸いです。

京都府立鴨沂高等学校
校長 松井 佳代美